越佐路ところどころ

暮らしやすく　希望あふれるまち　上越

— 上越市 —

■位置と地勢

上越市は、日本海に面し、新潟県の南西部に位置しています。市の中央部には、関川や保倉川等が流れ、この流域に高田平野が広がっています。この広大な平野を取り囲むように米山山地、東頸城丘陵、関田山脈、南葉山地、西頸城山地などの山々が連なっています。海岸線には砂丘が続き、砂丘と平野の間には天然の湖沼群が点在しています。

このように新しい上越市は、海・山・大地に恵まれた自然豊かな地域です。

■自然・気候

平野部、山間部、海岸部と変化に富んだ地形を有し、佐渡弥彦米山国定公園、久比岐県立自然公園、米山福浦八景県立自然公園、直峰松之山大池県立自然公園などに代表される美しい景観や多様な自然に恵まれています。

気候は、四季の変化がはっきりしていて、冬は日本海を渡ってくる大陸からの季節風の影響により多くの雪が降り、快晴の日が少ない典型的な日本海型です。

■交通

北陸自動車道や上信越自動車道、ＪＲ信越本線、えちごトキめき鉄道、ほくほく線、平成27年3月に開業し、来年3月に10周年の節目を迎える北陸新幹線などの交通網を有し、結節点として、人、もの、情報が行き交う交通の要であるうえ、日本海側では、三大都市圏へのアクセスが最も良い都市の1つです。さらに、北陸新幹線は今年3月に敦賀まで延伸されるほか、上越市と南魚沼市を結ぶ上越魚沼地域振興快速道路が建設されているなど、今後も県内他地域・三大都市圏とのアクセス向上が期待されます。

重要港湾である直江津港には、佐渡に定期フェリー航路が就航しています。国外では、釜山港を経由し中国、東南アジア、アメリカ、北欧などの全世界へ貨物が運ばれ、日本海側の拠点港として発展を続けています。

■歴史と文化

奈良時代には越後国の国府が置かれ、戦国時代には名将・上杉謙信公が春日山城を拠点とし、江戸時代に徳川家康の六男・松平忠輝公が高田城を築城するなど、越後の政治・経済・文化の中心として、長い歴史と文化を築き上げてきました。

また、近代の日本の文化や産業の発展に大きく貢献した郵便の父・前島密、日本のワインぶどうの父・川上善兵衛、日本近代童話の父・小川未明、日本画家の巨匠・小林古径、応用微生物学の世界的権威・坂口謹一郎など、多くの著名人を輩出しました。

明治44年（1911年）、当時のオーストリア・ハンガリー帝国の軍人テオドール・エドラー・フォン・レルヒ少佐が日本で初めてスキーの技術を伝えたのも上越市です。市内には、これらの先人たちを顕彰する施設が数多くあります。

■観光

上越に春の訪れを告げる高田城址公園観桜会。約4,000本の桜が約3,000個のぼんぼりに照らされ、お堀に映る様は美しく、「日本三大夜桜」として知られています。夏には蓮が高田城址公園の外堀約19haを埋め尽くし、その規模、美しさから東洋一といわれている観蓮会をはじめ、戦国武将・上杉謙信公を偲んで行われる謙信公祭のほか、各区の歴史に培われた伝統的なまつりも多彩です。

冬には、約10万本ものキャンドルの灯と雪像が美しい世界を演出する「灯(ともしび)の回廊」や、日本スキー発祥の地・金谷山スキー場を会場に、レルヒ少佐の遺徳を顕彰するレルヒ祭などが行われます。

一方、市内には地域で育まれてきた歴史や文化などの地域資源が数多くあることから、年間を通して当市を訪れ、滞在していただくことができるように「通年観光プロジェクト」を立ち上げました。全国的にも有名な上杉謙信公の「春日山」、鉄道のまち「直江津」、雁木や寺町など歴史的なまち並みが残る「高田」地区の3エリアを柱に、地域資源の磨き上げを図りながら、市内での滞在時間の増加や来訪者の満足度を高めることができるよう、通年観光に向けた取組を進めています。

■産業

上越市は、古くから陸上・海上交通の要衝として栄え、多彩な産業技術をもつ企業が集積してきました。市内には、あらゆる事業展開に応えられる産業団地も整備され、進出する企業の発展をサポートしています。

既存産業の育成のため、専門知識を有するものづくり振興専門員が情報の収集を行い、企業間連携及び産学連携のコーディネート等を行っています。さらに、信州大学工学部を始めとする6大学7学部と「ものづくり支援パートナー協定」を締結し、産学官の連携を深め、産業振興や人材育成に努めています。

一方、基幹産業の農業では、農地の大区画化や農業用水利施設の長寿命化に取り組むとともに、スマート農業の推進や担い手への農地集積と集約化などによる農業生産活動の効率化のほか、農林水産物の販売力強化のための農業者等への支援や、農業の後継者を確保するための就農支援などに取り組んでいます。

また、中山間地域の価値や魅力の向上を図るため、棚田地域の情報や魅力等を積極的に発信し、来訪者との交流機会の創出に取り組んでいます。

■さいごに

上越市は、新しいまちの将来都市像に「暮らしやすく、希望あふれるまち　上越」を掲げ、市民を市政運営・まちづくりの中心に据えながら、暮らしの質を高めていくとともに、市民一人一人が新しい時代を切り開くために挑戦し、活躍できる環境を整え、次代を担う子どもや若者が帰ってきたくなるまちの実現を目指しています。